

## 建設機械に関して！

### ■ 建設機械に関して

建設機械は最大15台まで申請できますが国土交通省の資料によると経審申請企業の保有台数が14台以下が約99%とあります。

保有台数	比率
0台	71.9%
1台	7.0%
2台	5.6%
3台	4.1%
4台	2.9%
5台	2.1%
6~10台	3.8%
11~14台	1.6%
15台	1.1%

※ ニッコン集計資料

ニッコンも独自に近年の経審申請企業のサンプリングより建設機械の保有台数の割合を集計した結果が左の表です。

建設機械を申請していない企業が約72%あることが分かります。1台申請した企業の割合が7%、最大15台申請した企業は1.1%でした。

国交省は、地域防災への備え及び災害時の復旧に不可欠な建設機械として設けましたので、より一層の活用を推進するために建設機械の種類を増やしたのでしょうか。

### ■ 現在までの建設機械

1) ショベル系掘削機 2) ブルドーザー 3) トラクターシャベルの3種類でした。

### ■ 平成27年4月から追加された建設機械に関して [国交省資料より]

- 1) 移動式クレーン(吊り上げ荷重3t以上)
  - ① 災害時に土嚢(どのも)・ブロックの積上げ・障害物撤去
  - ② 67,132台 [H24年12月時点:厚生労働省調べ]
  - ③ 吊り上げ荷重3t以上は製造時等検査・性能検査あり
- 2) 大型ダンプ(車両総重量8t以上及び最大積載量5t以上)
  - ① 土砂の運搬
  - ② 46,437台 [H24年12月時点:自動車局貨物課調べ]
  - ③ 定期的検査として自動車検査
- 3) モーターグレーダー
  - ① 除雪、整地、路面整備
  - ② 1,400台 [民間の推定保有台数]
  - ③ 定期的検査あり(労働安全衛生法による特定自主検査)

### ■ W評点と総合評定値Pに対するの影響は下記のとおりです。

- 1台追加したとき W評点 → 9点~10点のアップ  
P評点 → 1点~2点のアップ
- 15台追加したとき W評点 → 142点~143点のアップ  
P評点 → 21点~22点のアップ

### ■ 経審博士12の新バージョンに関して

3月17日より新しいバージョン Ver12.003、Ver12.103を出荷しています。

- ① 技術職員の新たな資格 型枠施工(1級、2級)、建築板金「ダクト板金作業」(1級、2級)を追加しました。
- ② 若年技術職員に関する割合の表示が小数点第2切り捨てであるところ、四捨五入になっていましたので修正しました。ただし、該当、非該当の判断に関しては正常な計算をしていますので評点に影響があることはありませんでした。

- 最新のプログラム(バージョン)は「経審博士メンバーズ」にアップされていますので、ダウンロードして再度インストールを実施してください。
- 経審博士12+Formの Ver 12.101、Ver 12.102をお持ちの方は、提出資料の別紙三「その他審査項目(社会性等)」の表示が違いますので上記実施下さい。

### ■ 経審博士12に関して

既に販売している経審博士12の前シリーズと違いに関しては経審博士シリーズのサポート用ホームページの「経審博士サポート情報」に掲載しています。

#### 経審博士12シリーズ

##### 最新バージョン

2015/2/12 経審博士12 Ver12.003 発売中

2015/3/4 経審博士12+Form Ver12.103 発売中

・新バージョンの変更内容 2015/3/17

##### 平成27年4月の改正内容

■ 経審博士12の新しい機能 (2015/3/4に内容更新)

- ・「経審博士12の新しい機能」に掲載しています